

---

報告者名	山口未花子	被調査者生年	未確認(男)
調査者名	山口未花子	被調査者属性	大原浜地区区長
補助調査者	兼城 糸絵・高倉 浩樹		

---

## 大原浜地区の無形文化財である御神木祭について

御神木となるのは実のなる木だけである。それは大原浜だけでなく御神木を祭る浜全てに共通している。多分実が成るといのは縁起がいいのだろう。大原浜は「イリミの木(?)」に決まっている。他の浜では栗の木等を使う。

被災して、山車の飾り(山車をくるむようにする)大漁旗が流された。でも日本財団に申請して、助成してもらえることになった。でも山車の車庫が流されたものの修理は頼まなかった。そこまでは頼めなかった。

## その他の被災の影響

神社も地震の揺れでかなり壊れた。その修理を申請したが、市ではとても対応しきれないので県の管轄になると言われた。それで区長として県にも掛け合ったが、いつになったらここまで手が回るかはわからない。でもボランティアの人たちがかなり頑張って石段等は使えるまでにしてくれた。

最近はわかめの加工で忙しい。もうあと1、2日だけど、わかめが養殖でよく育った上に値段も良かった。加工の人出が足りなくてボランティアにも頼んだ。加工場は被災したが苦勞してわかめの季節までになんとか施設をつくった。でも昔は50人くらい働いていたのが震災後、今は20人くらいだ。養殖と加工場は別で、牡蠣やわかめ場別々に養殖するが、加工は一つのところ。季節によっていまはわかめで、その前が牡蠣というぐあい。

大原浜では牡鹿地区では珍しく、生活センターがボランティアの拠点になっている。ボランティアセンターなどを通さず、区長が直接受け入れて、直接仕事を割り振る。